

塾長の独り言 NO150 H23 . 5 . 2

誰かのために戦う強さ」

5月2日の産経新聞社説「主張」に、「誰かのために戦う強さを」という記事がありました。

フィギュアスケート世界選手権で、安藤美姫選手が優勝した。

彼女を世界一に押し上げたのは、「日本のために滑る」という強い気持ちだった。

開会式で銀盤に映し出された日の丸がアリーナに掲揚され、目に涙をたたえて君が代を歌う安藤選手の笑顔が美しかった。

大会前から「日本の被災地のために滑る。一人でも多くの人に笑顔になってもらいたい」と話していた。

ショートプログラム2位から逆転で優勝した安藤選手の演技には、会場を魅了する祈り、癒し、希望があった。

世界選手権の勝因を彼女は「日本のことを考えて滑った。それが今までと大きな違い。強い気持ちでリンクに立てた」と語った。

仙台では改修工事を間に合わせたスタジアムで、プロ野球の楽天が田中将大投手の力投で地元での初戦を勝利で飾り、Jリーグの仙台は、これまで一度も勝ったことがない浦和に快勝した。

楽天の嶋選手会長は試合後、スタンドのファンに「何のために僕たちは戦うのか、はっきりしました。この1ヶ月半で分かったことがあります。それは、誰かのために戦う人間は強い、ということです。」と語りかけた。

大震災から、50日を超えた。

だが、被災地の傷跡はあまりに深く広範囲で、復旧、復興には相当の時間を要するだろう。不自由な避難所生活を送っている被災者も数多い。

震災直後の、被災者のことを思う気持ちは薄れていないか。

誰かのために戦うことは、自らも強くする。

そう信じて国難に立ち向かっていきたい。

平成 23年 5月 2日、産経新聞主張より

この文章を入力しながら、涙が流れた。

自分の利害損得や名誉などではなく、誰かの役立つために……

クラーク博士の「少年よ、大志を抱け！……」を思い出す。

後半の文章は「お金のためではなく、私欲のためでもなく、名誉といふ空虚な志のためでもなく、人はいかにあるべきか、その道を全うするために、大志を抱け。」

<コメント>

マズローの5段階の欲求の一番上の「自己実現」には、その上にもう1段階ある。

それは、「他己実現の欲求」です。

つまりは誰かの役に立つ。社会貢献です。

人は誰かのお役に立ちたいのです。

そして、一番力を出せるのは人の役立っているという実感が伴うことです。

3.11以降の日本人の価値観が変わってきました。

私は文化レベルが上がってきた。民度が向上してきたのではと感じております。

私自身も自分が出来ることを出来る限りやっていきたいと思っています。

みなさまは、いかがでしょうか？